

「地震力発電」アイデア発信

湖西中・山本さん 夢絵画で大賞

湖西市立湖西中1年の山本伊織さん(13)が23日からインドネシアで開かれる世界青少年発明工夫展で、日本代表として現地で英語でのプレゼンテーションを行う。公益社団法人発明協会主催の「第40回未来の科学の夢絵画展」で、最高賞に次ぐ経済産業大臣賞を受賞し、代表権を得た。地震エネルギーを電力に転換する「地震力発電」という夢のアイデアを提案する。

受賞したのは「地震力発電」を使って人々が生活する様子を描いた作品。地震の揺れが地表に伝わる前に、地下に設置した巨大ノズルでエネルギーを吸収して電力に変換し、生活に利用する様子を表現した。小学5年時の作品で、全国からの応募作品8492点の中から選ばれた。

アイデアが生まれたのは、2011年に起こった東日本大震災で被害の様子を伝える映像などを目の当たりにし、地震には強大なエネルギーがあると知った

世界展でプレゼンへ

経済産業大臣賞を受賞した「地震力発電」をテーマにした作品



▶ 経済産業大臣賞の賞状を手にする山本伊織さん＝湖西市大知波



ことがきっかけ。「地震が多い日本で、生活に上手に生かす方法はないか」と考えを巡らせた。

独自の科学的発想を描いた作品を募集する「未来を巡らせた」

膨らませた。

世界青少年発明工夫展の出場者は、アジアなど約10カ国から選ばれた小中学生ら。23～25日に学者や企業関係者、現地の人々に対し、英語で約1分間、絵の内容や自分の考えをプレゼンテーションする。自作の紙芝居を準備した山本さんは「インドネシアも地震の多い国なので、地震力発電の考えを紹介したい。他の参加者のアイデアも学びたい」と意欲を示す。

(湖西支局・大沼雄大)

2019年
10月16日夕刊

① 記事中の山本さんは地震のエネルギーを何に転換しようとするアイデアを発表するのか。漢字2字で書きなさい。

()

② 山本さんのアイデアを参考にして、「何か(の力)を何か(の力)に転換する」というアイデアを1つ考え、20字以内で書きなさい(句読点をふくむ)。 ※ 実現可能かどうかは問いません。

←10字

←20字

年 組 名前